

国際絵画コンテストで、日本人小学生と高校生が1位と3位獲得 国際航空連盟(FAI)ヤング・アーティスト・コンテスト



国際航空連盟(FAI)が主催する青少年を対象とした国際絵画コンテスト「FAI ヤング・アーティスト・コンテスト2006」において、横浜市の小学生、伏見真凜さんの作品が6-9歳クラスの1位に、福岡市の高校生、番園祐貴さんの作品が14-17歳クラスの3位にそれぞれ入賞した。

昨年創立100周年を迎えた国際航空連盟(FAI)は航空スポーツの普及を目的に1905年に設立された団体で、スイスに本部があり、空のスポーツの国際競技会や世界記録の公認など様々な活動を行っているが、世界の青少年を対象とした絵画コンテストを毎年開催している。

「空へおいでよ！」 伏見真凜 絵のテーマは毎年変わり、審査は年齢別に6-9歳、10-13歳、14-17歳のクラス毎に行われる。今年は「スカイスポーツで大自然と遊ぼう」をテーマにコンテストが開催された。

財団法人日本航空協会は、国際航空連盟の日本代表として1999年より当該コンテストに参加している。今年は528点の応募作品の中から国内予選「青少年航空宇宙絵画国際コンテスト」を通過した9枚の作品を国際航空連盟に送付、先ごろローザンヌにて開催された国際審査会で、参加20ヶ国の作品の中から6-9歳クラスの1位に伏見真凜さん(横浜市立緑小学校4年生)の作品「空においでよ！」が入賞した。伏見さんの作品は雲をバックにたくさんの気球やグライダー、パラグライダー、飛行機が鳥や蝶と一緒に飛ぶ姿が表現されている。当該コンテストで日本人の作品が1位となったのは、昨年の佐世保市の小学生竹内翔祐さん、2003年の長野県上田市の中学生桑原弘成さんに続く快挙である。

番園祐貴さんは、福岡県立筑紫丘高等学校2年生で「鳥になる、風になる」という題で、ハンググライダーが正に離陸しようとする所を表現し、14-17歳クラス3位に入賞した。

入賞者には国際航空連盟よりメダルと賞状が送られるほか、日本航空協会や「空の日」・「空の旬間」実行委員会よりも副賞が贈られる。

なお、来年のテーマは「飛行場(Airfield)」と決定した。応募締め切りは来年1月31日の予定。詳しくは(財)日本航空協会「絵画コンテスト係」まで。

TEL03-3502-1203 [Eメールart@aero.or.jp](mailto:art@aero.or.jp)

作品は下記ホームページでご覧いただけます。

国際航空連盟(FAI) <http://www.fai.org/education/contests/artists/>

(財)日本航空協会 http://www.aero.or.jp/young-art-con/young_art.htm



「鳥になる、風になる」番園祐貴